

<令和3年度 学力向上推進事業 指定校 富岡市立東中学校>

学年・教科：3年・外国語 単元名：「ALTのために魅力ある日本の都市を紹介しよう」
 ねらい：ALTに日本の魅力について知ってもらうために、自分で作成したマッピングを活用しながら、日本の都市やその特色について、自分の考えや気持ちなどを話すことができる。

教師の発問・生徒の反応	学習の様子
<p>1 スモール・トーク（テーマ：おすすめの国）を行う。</p> <p>S1: Have you been to France? France has a lot of places to visit. For example, ...</p> <p>2 本時のめあてをつかむ。 T: What is the goal of this unit? S: ALTにおすすめの都市を紹介する！ ALT: You have made good presentations. But I want to know more information about your recommended city. 【端末上に、ALTからのリクエストされた英文が送付】 ※各自がプレゼンする都市の情報以外に、「ALTからのリクエスト内容」を提示することで、単元のゴールの際に、思考・判断・表現を見取る判断材料となるようにしている。 S: (このリクエストは、自分のマッピングにはないなあ...) S: (ALTがより行きたくなるようにマッピングに反映させないとな) S: (友達はどんな工夫をしているのかな) T: では、今日はALTのリクエストに応えながら、お互いのマッピングを見合って、プレゼン内容をよりよくしていきましょう。</p> <div style="border: 2px solid black; background-color: yellow; padding: 5px; text-align: center;"> <p><めあて>互いのマッピングを共有し、 自分のプレゼン内容をよりよくしよう。</p> </div> <p>3 本時の活動に取り組む。 ①ALTからのリクエストを反映させたり、友達のマッピングを参考にしたりしながら、各自のプレゼン内容を改善する。 【端末上で、全員のマッピングを共有】 ※ALTからのリクエストに対応している付箋や、友達のマッピングを参考にした付箋に、前回までの付箋と、色を変えることで、生徒の自己調整を見取れるようにしている。 S: (このリクエストには応えるためには、英語で何て言えばいいのだろう...) S: (まわりの友達は、どんな付箋を加えたかな...食べものの味まで付箋を付けている子がいるぞ。自分も英語で言ってみよう) ②中間評価を行い、モデルとなるマッピングを全体で共有する。 T: このマッピングは、ALTのリクエストに対応しながら、「発表順」「ALTの言葉の引用」「投げかけ」なども意識してますね。 ③発表を行う。</p> <p>S1: First, I hear you love eating pasta. Takasaki is called "Town of Pasta". It has a lot of good Italian restaurants there. Among them, I think Shango is the best. Because there are a lot of different dishes. Look at this. Do you know what this is? It is Shango fu pasta. It is made from wheat flour. I love it very much. So, I wish I could eat it every day. If you eat it, I think you will be a Shango fan. Second, ...</p> <p>4 振り返りを行う。 S: 次回、ALTが喜んでもらえるように、「引用」も入れてみたいな。</p>	     